



HP TechPulse Windows Application のアップデートの管理

目次

はじめに	2
アップデートの管理	2
リリースの分類、有効期限、自動更新	2
リリースの分類	2
リリース	3
サポートされているバージョン	4
アップデートの管理方法	5
アップデートの管理方法	6
方法 A: バッチファイルを使用して更新を管理	6
方法 B: Microsoft Active Directory (AD) Group Policy Object (GPO) を使用して更新を管理します	8

はじめに

HP TechPulse では、2019年5月のリリース (バージョン 3.19.160 以降) より特定の期間 HP TechPulse Windows Application の自動更新を無効にできる機能が追加されました。

通常、HP TechPulse Windows Application の初回デプロイメント、HP TechPulse へのデバイスの登録後、HP TechPulse Windows Application は、アップデートが HP によりリリースされると最新バージョンに自動的に更新されます。デフォルトでは、Windows デバイスは、これらのアップデートを自動的にインストールするよう構成されています (自動更新が有効になっています)。

HP TechPulse Windows Application は通常、毎月アップデートがリリースされていますが、セキュリティや機能を制限する重大な問題に対処するために臨時アップデートがリリースされる場合があります。

アップデートの管理

HP TechPulse Windows Application の 2019年5月リリース (バージョン 3.19.160 以降) より、アップデートを自身で管理したいお客様は、特定の期間、デバイス上で HP TechPulse Windows Application の自動更新を無効にできます。重大な問題に対処するために臨時アップデートがリリースされる場合があることに注意してください。臨時アップデートは、可能な限り早くテストし、デプロイする必要があります。

リリースの分類、有効期限、自動更新

リリースの分類

HP TechPulse Windows Application のすべてのリリースは以下のように分類されます。

- **Latest Release (最新リリース)**。最新のリリースとして分類される唯一のリリースであり、最も新しいリリースです。リリースから 1 か月が経過すると、「Latest Release (最新リリース)」は、「General Release (一般リリース)」に分類されます。
- **General Release (一般リリース)**。「Latest Release (最新リリース)」より前のすべてのリリースは、「General Release (一般リリース)」に分類され、「General Release (一般リリース)」として分類される次のリリースのリリース後最大 7 か月間サポートされます。

注: ベータリリースについては、最新リリースと一般リリースは同じです (バージョン 3.19.160)。

<https://www.hpdaas.com/software>、<https://eu.hpdaas.com/software> から入手できます。

注: HP TechPulse Windows Application の自動更新を無効にしたいお客様は最新の一般リリースのみを使用することをお勧めします。以下に例を示します。

HP TechPulse Windows Application のアップデートの管理

- 2019年5月8日～6月8日、お客様は2019年4月9日リリースを使用することをお勧めします。

リリース日 (わかりやすい名前)

リリース日	リリース分類	HP 推奨
2019年5月	最新リリース	
2019年4月	一般リリース	✓
2019年3月	一般リリース	
2019年2月	一般リリース	
2019年1月	一般リリース	

- 2019年6月8日以降は2019年5月8日リリースを使用することをお勧めします。

リリース日 (わかりやすい名前)

リリース日	リリース分類	HP 推奨
2019年5月	一般リリース	✓
2019年4月	一般リリース	
2019年3月	一般リリース	
2019年2月	一般リリース	
2019年1月	一般リリース	

リリース

HP TechPulse Windows Application の一般リリースには、有効期限が設けられています。自動更新を無効にしたいお客様は、有効期限 (次の一般リリースのリリース後 **6 か月**) まで一般リリースを使用できます。デバイスにインストールされた HP TechPulse Windows Application バージョンの期間が6か月に達すると、HP TechPulse Windows Application は追加の **30 日の猶予期間**に移行します。30日の猶予期間の終了後、デバイスの HP TechPulse Windows Application は最新の一般リリースに自動的にアップグレードするよう設計されており、デバイスは、有効期限までこの最新の一般リリースが適用されます。例として、以下の表は各リリースの有効期限、30日の猶予期間、30日猶予期間後の自動アップグレードのバージョンを示しています。

HP TechPulse Windows Application のアップデートの管理

リリース 日(わかりやすい 名前)	リリース 日	リリース分類	HP 推奨	有効期限	30日猶予 期間	30日猶予 期間後の 自動アップ グレー ドのバー ジョン
2019年 5月	2019 年5月 8日	最新リリース		該当なし		
2019年 4月	2019 年4月 19日	一般リリース	✓	2019年5月 8日 + 6か月	2019年 5月8日 + 7か月	2019年 4月リ リース
2019年 3月	2019 年3月 8日	一般リリース		2019年4月 9日 + 6か月	2019年4 月9日 + 7か月	2019年 4月リ リース
2019年 2月	2019 年2月 19日	一般リリース		2019年3月 8日 + 6か月	2019年3 月8日 + 7か月	2019年 4月リ リース
2019年 1月	2019 年1月 15日	一般リリース		2019年2月 19日 + 6か月	2019年2 月19日 + 7か月	2019年 4月リ リース

サポートされているバージョン

HP TechPulse Windows Application の自動更新の管理は、2019年5月リリース (バージョン 3.19.160 以降) からのみ利用できます。以下は、ベータリリースの更新管理に使用される、HP TechPulse パッケージおよび HP Touchpoint Analytics Client パッケージのバージョンを説明しています。

パッケージ名	パッケージバージョン
HP TechPulse	3.19.160
HP Touchpoint Analytics Client	4.1.4.2780

アップデートの管理方法

1. HP TechPulse Windows Application の自動更新の管理は、デバイスのレジストリアップデートのグループである**ポリシー**から実行できます。
2. 自動更新ポリシーは、HP TechPulse Windows Application の自動更新を管理し、3つの属性が含まれます。
3. 以下は、自動更新ポリシーの3つの属性を説明します。

属性の名前	属性の説明	属性の値	対象パッケージ
IsVersionPolicy	HP TechPulse Windows Application の自動更新の有効化/無効化を管理	<ol style="list-style-type: none"> 1. 0 – 自動更新が有効。 2. 0 の値は自動更新が無効であることを示します。 3. 100 – 予約済み。自動更新は、Group Policy Object 方法により無効になっています。 4. 200 – 予約済み。自動更新は、バッチファイル方法により無効になっています。 5. 300 – 予約済み。自動更新は、レジストリ方法により無効になっています。 	HP TechPulse と HP Touchpoint Analytics Client
TechpulseVersion	お客様が一般リリースの有効期限まで使用したい HP DaaS パッケージの一般リリースバージョン。	3.19.160	HP TechPulse
HPTAVersion	お客様が一般リリースの有効期限まで使用したい HP Touchpoint Analytics パッケージの一般リリースバージョン。	4.1.4.2780	HP Touchpoint Analytics Client

アップデートの管理方法

お客様は、これらの方法のいずれかを使用して HP TechPulse Windows デバイスの HP TechPulse Windows Application の自動更新を管理 (有効化/無効化) できます。

- 方法 A: バッチファイルを使用して更新を管理します。
- 方法 B: Microsoft Active Directory (AD) Group Policy Object (GPO) を使用して更新を管理します。

方法 A: バッチファイルを使用して更新を管理

この方法では、.BAT ファイルを使用して HP TechPulse Windows Application の自動更新を管理します。

手順 1: バッチファイルの作成

1. メモ帳などのテキストエディターを開きます。
2. 下記をコピーし、ファイルの本文に貼り付けます。

```
::@echo off
REG ADD "HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Policies\Hewlett-Packard\HPTechPulse\GPO\TechPulseVersionPolicy" /v IsVersionPolicy /t REG_DWORD /d 200 /f
REG ADD "HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Policies\Hewlett-Packard\HPTechPulse\GPO\TechPulseVersionPolicy" /v TechpulseVersion /t REG_SZ /d %1 /f
REG ADD "HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Policies\Hewlett-Packard\HPTechPulse\GPO\TechPulseVersionPolicy" /v HPTAVersion /t REG_SZ /d %2 /f
```

3. File (ファイル) > Save As (名前を付けて保存) の順にクリックし、ファイルを *versionsettings-ref-import.bat* として保存します。
4. *versionsettings-ref-import.bat* を組織のすべてのデバイスがアクセスできる場所に保存します。

手順 2: バッチファイルのデプロイ

お客様は、ログオンスクリプトまたは Microsoft System Center Configuration Manager (SCCM) を使用してバッチファイルをデプロイできます。

ログオンスクリプト

デバイスで HP TechPulse Windows Application をすでにデプロイしている場合、以下の構文を使用してバッチファイル (*versionsettings-ref-import.bat*) をログオンスクリプトとして配布します。

```
{Path}\versionsettings-ref-import.bat TechpulseVersion HPTAVersion
```

以下に例を示します。

```
{Path}\versionsettings-ref-import.bat 3.19.160 4.1.4.2780
```

注: ベータリリースについては、TechPulseVersion、HPTAVersion をそれぞれ 3.19.160、4.1.4.2780 として使用してください。

HP TechPulse Windows Application をデバイスにデプロイしていない場合、以下の構文を使用して、自動更新バッチファイル (*versionsettings-ref-import.bat*) と HP TechPulse Windows Application インストールパッケージを 1 つのバッチファイルにまとめることができます。

```
{Path}\versionsettings-ref-import.bat TechpulseVersion HPTAVersion && [Path]\Setup.exe /silent  
CPIN=[Company-PIN]
```

以下に例を示します。

```
{Path}\versionsettings-ref-import.bat 3.19.160 4.1.4.2780 && [Path]\Setup.exe /silent CPIN=[HP DaaS  
Company-PIN]
```

注: ベータリリースについては、TechPulseVersion、HPTAVersion をそれぞれ 3.19.160、4.1.4.2780 として使用してください。

注: HP TechPulse 社用 PIN の追加のサポートが必要な場合は、HP TechPulse プロアクティブ管理マネージドサービスにお問い合わせください。

Microsoft System Center Configuration Manager (SCCM)

HP TechPulse Windows Application をデバイスにデプロイしていない場合、自動更新バッチファイル (*versionsettings-ref-import.bat*) と HP TechPulse Windows Application インストールパッケージを SCCM で 1 つのアプリケーションパッケージにまとめることができます。

1. SCCM で **【Applications (アプリケーション)】** に移動し、アプリケーションパッケージを作成して HP TechPulse Windows Application をデプロイします (例: *HP TechPulse Application*)。
2. バッチファイルを *HP Application* に追加する方法
 - a. *HP TechPulse Application* を右クリックし、**【Properties (プロパティ)】** をクリックします。
 - b. **【Deployment Type (デプロイメントタイプ)】** タブをクリックします。
 - c. *HP Application* を選択し、**【Edit (編集)】** をクリックします。

- d. 「Installation Program (インストールプログラム)」フィールドで、以下の構文を使用してコマンドを追加してバッチファイル (*versionsettings-ref-import.bat*) を実行します。コマンドが実行されると HP TechPulse Windows Application がインストールされます。

```
{Path}\versionsettings-ref-import.bat TechpulseVersion HPTAVersion && [Path]\Setup.exe /silent  
CPIN=[Company-PIN]
```

以下に例を示します。

```
{Path}\versionsettings-ref-import.bat 3.19.160 4.1.4.2780 && [Path]\Setup.exe /silent CPIN=[HP DaaS  
Company-PIN]
```

注: ベータリリースについては、TechPulseVersion、HPTAVersion をそれぞれ 3.19.160、4.1.4.2780 として使用してください。

注: HP TechPulse 社用 PIN の追加のサポートが必要な場合は、HP TechPulse プロアクティブ管理マネージドサービスにお問い合わせください。

方法 B: Microsoft Active Directory (AD) Group Policy Object (GPO) を使用して更新を管理します

この方法では、Microsoft Active Directory (AD) Group Policy Object (GPO) を使用して更新を管理します。

手順 1: ADML および ADMX ファイル

1. HP により提供されたサンプル ADML ファイルを [\\{FQDN}\SYSVOL\{Domain_Name}\PolicyDefinitions\en-US\HPTechPulse-Version-Settings.ADML](#) にコピーします。
2. HP により提供されたサンプル ADMX ファイルを [\\{FQDN}\SYSVOL\{Domain_Name}\PolicyDefinitions\HPTechPulse-Version-Settings.ADMX](#) にコピーします。

警告: ADML および ADMX ファイルが現在の場所に保存されると、ポリシーは Active Directory Group Policy Object (GPO) に表示されなくなります。

手順 2: 新しい Group Policy Object (GPO) の作成

1. サーバーで「Group Policy Management (グループポリシー管理)」を起動します。
2. 「Group Policy Management (グループポリシー管理)」ウィンドウで、Group Policy Management (グループポリシー管理) > {forest name} (フォレスト名) > Domains (ドメイン) -> {domain name} (ドメイン名) > Group Policy Objects の順に移動します。
3. Group Policy Objects を右クリックし、「New (新規)」を選択します。
4. New GPO ダイアログで以下を入力し、「OK」をクリックします。
 - a. Name (名前): *HPTechPulse-Version* (または任意の名前)
 - b. Source Starter GPO: (なし)

手順 3: Group Policy Object (GPO) とデバイスグループの関連付け

1. サーバーで「Group Policy Management (グループポリシー管理)」を起動します。
2. 「Group Policy Management (グループポリシー管理)」ウィンドウで、Group Policy Management (グループポリシー管理) > {forest name} (フォレスト名) > Domains (ドメイン) -> {domain name} (ドメイン名) > Group Policy Objects の順に移動します。
 - a. *HPTechPulse-Version* をダブルクリックして GPO を開きます。
3. 「Security Filtering (セキュリティフィルタリング)」セクションに移動します。
 - a. 「User Groups (ユーザーグループ)」を選択し、「Remove (削除)」をクリックして「User Groups (ユーザーグループ)」を削除します。
 - b. 「Add (追加)」をクリックします。
 - c. 「Select User, Computer or Group (ユーザー、コンピューター、またはグループを選択)」ウィンドウで「Object Types (オブジェクトタイプ)」をクリックします。
 - i. 「Object Types (オブジェクトタイプ)」ダイアログで「Computers (コンピューター)」のみを選択し、「OK」をクリックします。
 - ii. 「Select User, Computer or Group (ユーザー、コンピューター、またはグループを選択)」ダイアログで「Advanced (高度)」をクリックします。
 1. 「Select User, Computer or Group (ユーザー、コンピューター、またはグループを選択)」ダイアログで、「Find Now (今すぐ検索)」をクリックしてすべての「Device Groups (デバイスグループ)」を検索し、「OK」をクリックします。
 2. 必要に応じてすべてのデバイスグループにこの手順を繰り返します。
 - d. 「Select User, Computer or Group (ユーザー、コンピューター、またはグループを選択)」ウィンドウで「OK」をクリックします。

4. **【Group Policy Management (グループポリシー管理)】** ウィンドウで、Group Policy Management (グループポリシー管理) > {forest name} (フォレスト名) > Domains (ドメイン) -> {domain name} (ドメイン名) の順に移動します。
 - a. {domain name} (ドメイン名) を右クリックし、ドロップダウンメニューから **【Link an Existing GPO... (既存の GPO をリンク...)】** を選択します。
 - b. **【Select GPO (GPO の選択)】** ウィンドウで新しく作成された Group Policy Object *HPTechPulse-Version* を選択し、**【OK】** をクリックします。
5. **【Group Policy Management (グループポリシー管理)】** ウィンドウで、Group Policy Management (グループポリシー管理) > {forest name} (フォレスト名) > Domains (ドメイン) -> {domain name} (ドメイン名) > Group Policy Objects の順に移動し、新しく作成された GPO *HPTechPulse-Version* を右クリックし、**【Edit (編集)】** をクリックします。
 - a. **【Group Policy Management Editor (グループポリシー管理エディター)】** ウィンドウで、Computer Configuration (コンピューター構成) > Policies (ポリシー) > Administrative Templates (管理テンプレート) の順に移動します。central store (セントラルストア) > *HP TechPulse* (*HP TechPulse* から取得したポリシー定義 (ADMX ファイル) は、ADML/ADMX ファイルから自動的に取得されます)。
 - b. 右側のペインで *HP TechPulse Version Configuration* をダブルクリックします。
 - i. **【HP TechPulse version configuration (HP TechPulse バージョン構成)】** ウィンドウで以下を入力します。
 1. **【Enabled (有効)】** を選択します。
 2. TechPulse Client version: 3.19.160
 3. Touchpoint Analytics Client version: 4.1.4.2780
 - ii. **【OK】** をクリックします。
 - c. **【Group Policy Management Editor (グループポリシー管理エディター)】** を閉じます。
6. **【Group Policy Management (グループポリシー管理)】** ウィンドウで、Group Policy Management (グループポリシー管理) > {forest name} (フォレスト名) > Domains (ドメイン) -> {domain name} (ドメイン名) > Group Policy Objects の順に移動し、新しく作成された Group Policy Object *HPTechPulse-Version* を右クリックし、**【Enforced (実行)】** をクリックします。

Microsoft System Center Configuration Manager (SCCM) を活用して HP DaaS Windows Application をデプロイするお客様は、**全般的な条件と要件**を作成できます。

手順 4: SCCM で一般的条件の作成

1. SCCM を起動します。
2. Software Library (ソフトウェアライブラリ) > Overview (概要) > Application Management (アプリケーション管理) > Global Conditions (全般的な条件) に移動します。
3. 「Global Conditions (全般的な条件)」を右クリックし、「Create Global Condition (グローバル条件の作成)」を選択します。
4. 「Create Global Condition (グローバル条件の作成)」ダイアログで以下を入力し、「OK」をクリックします。
 - a. Name (名前): *HP DaaS Version Policy Check*
 - b. Device Type (デバイスの種類): *Windows*
 - c. Condition Type (条件の種類): *Setting (設定)*
 - d. Setting Type (設定タイプ): *Registry Value (レジストリ値)*
 - e. Data Type (データタイプ): *文字列*
 - f. Hive Name (Hive 名): *HKEY_LOCAL_MACHINE*
 - g. Key Name (キー名): *SOFTWARE\Policies\Hewlett-Packard\HPTechPulse\GPO\TechPulseVersionPolicy*
 - h. Value Name (値の名前): *TechpulseVersion*

手順 5: SCCM で要件の作成

1. SCCM を起動します。
2. Software Library (ソフトウェアライブラリ) > Overview (概要) > Application Management (アプリケーション管理) > Applications (アプリケーション) に移動します。
 - a. 右側のパネルで HP TechPulse Windows Application をデプロイするために使用される SCCM パッケージ名を選択します(例: *HP TechPulse Application*)。
 - b. HP TechPulse Application を右クリックし、「Properties (プロパティ)」をクリックします。
 - c. HP TechPulse Application の「Properties (プロパティ)」ダイアログで、「Deployment Type (デプロイメントタイプ)」タブをクリックします。
 - i. HP TechPulse Application を選択し、「Edit... (編集...)」をクリックします。
 - ii. HP TechPulse Application の「Properties (プロパティ)」ダイアログで、「Requirements (要件)」タブをクリックします。
 1. 「Add (追加)」をクリックします。
 2. 「Create Requirement (要件の作成)」ダイアログで以下を選択します。
 - a. Category (カテゴリ): *Custom (カスタム)*
 - b. Condition (条件): *HP TechPulse Version Policy Check*
 - c. Rule type (ルールタイプ): *Existential (存在)*
 - d. 「*The selected global condition must exist on client devices (選択した全般的条件はクライアントデバイスに存在する必要があります)*」を有効にします。
 3. 「Create Requirement (要件の作成)」ダイアログで「OK」をクリックします。

- d. HP TechPulse Application の「Properties (プロパティ)」ダイアログで「OK」をクリックします。
3. HP TechPulse Application の「Properties (プロパティ)」ダイアログで「OK」をクリックします。

© Copyright 2021 HP Development Company, L.P. こちらに記載されている情報は予告なく変更されることがあります。HP の製品およびサービスに関する保証は、当該製品およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。HP は、本書の技術的または編集上の誤りや欠落に関して責任を負いません。

Microsoft および Windows は、米国およびその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

2021 年 2 月 1 日